

特集

みんなを守る 防災術

防災に関する問合せは、総務課 防災係 ☎内線561～562

東日本大震災から二年

町でも震度4を記録した東日本大震災から約二年。今も日本全国どこかで、毎日のように小さなものから大きなもので、地震が起こっています。あんなに大きな地震はしばらく起きない、そう思って安心していている人はいませんか？ 自然災害は地震だけでなく、暴風、豪雨、洪水、高潮などもあります。いつ何が起きるかわからない、起きてから対策をしても間に合わない。これを機に、もう一度「自分・家族・地域を守る防災」について考えてみましょう。



▲東日本大震災での教訓を忘れないでください。

東日本大震災以降、皆さん防災意識が高まっていることを感じます。その気持ちをいつまでも忘れないよう、日ごろから訓練に参加したり、家族で話しあったりしてほしいです。もし大きな災害が起きたとしても、葉山町は実害が少なかった。それを目指して、私たちも緑の下の力持ちとして、全力でサポートします。

沿岸に住む人たちには地震が起これば何よりもまず高台へ、と啓発が続いています。やはり津波から命を守ることに、つまり自助が何よりも先決です。一方で、沿岸地域ではなく、自分や家族の安全が確保できている人は、どんどん共助に参加してほしいですね。

三つの「助」をバランスよく



総務課 防災係
福本主幹

他にも幼児のいる家庭では紙オムツや粉ミルク、おもちゃなど「我が家オリジナルの持出袋」を作りましょう！

また、せっかく用意しても、いざという時に忘れてしまっただけでは意味がありません。いつでもその存在がわかるよう、玄関先などに置き、日ごろから意識しましょう。

包帯やハサミ・常備薬

バッテリー・予備電池

ラップ等生活用品

衣類や雨具

10円玉 (公衆電話用)

海にいる時は



ここに逃げよう

地震がきたら急いで高台へ

今年の一月ごろより、新しくなった津波ハザードマップをお配りしています。

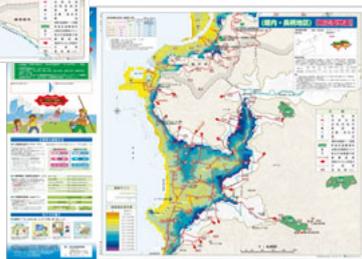
改訂したマップは、県公表の「明応型地震」(1498年に発生したとされる震度5〜6の地震)を基にした津波浸水予測を採用しています。この型は、町域に最大の津波高津波浸水面積をもたらすものです。

高台までの避難経路候補を確認し、身近な高台への経路を探してみましょう。役場等での配布のほか、ホームページからも閲覧ができます。

▶ 片面が一色・下山口地区



▶ もう片面が堀内・長柄地区



非常持出袋をもう一度確認しよう!

チェックマークをつけてね!



大きめの袋・リュック等



飲料水



非常食



ヘルメット



ライター



懐中電灯



携帯ラジオ

家庭で

決めよう、「もしも」の時のしよ



▲防災のこと、家族で話し合っていますか？

災害時の取決めがない人は、もしもの時が来てから決めるのではなく、今すぐ確認しましょう。

まずは災害時に家族全員が自宅にいた場合、それぞれの役割分担を決めておきましょう。火元やブレーカー、非常用品の持出し、お年寄りや病人の保護。あらかじめ役割を決めておくことで、災害時にもすばや

い行動ができます。次に家族が離れ離れにいた場合の



▲ガムテープのメモで居場所を伝えよう！

安否確認方法です。電話が不通になった時は、NTTによる「災害用伝言ダイヤル171」、その他各携帯電話会社による「災害用伝言板」を活用しましょう。毎月1日・15日はこれらが体験できますので、家族全員がしっかりと使い方を覚えていると安心です。

最後に、家庭内に備蓄する習慣を持つことも大切です。一人一日3リットル・三日分の飲料を備蓄しておきましょう。普段消費する飲料を多めにストックするよう心がけると、いざという時に助かります。

ペットを守ること

町には、多くのペットがいますが、防災に関するしつけをしていますか？ ペットも皆さんと同じ家族です。犬であれば「地震だ！」と言ったら玄関に走るようしつける、飼い主が避難所で生活をしなければいけなくなった時に預けられる場所を探しておく、など日ごろから考えておいてください。

葉山町では、「災害時の動物救護活動に関する協定」を湘南獣医師会、鎌倉市、逗子市と締結しました。これは地震、風水害等の大規模災害が発生した場合、動物の健康相談や救護活動に必要な措置を実施することなどを内容としています。

私もみんなの家族。守ってくれますか？



町の防災情報は どこでわかるのだろうか



迅速な情報をお届けする、防災行政無線。

町内全域に一斉に情報伝達するための設備。気象警報と津波情報等の災害情報は男性の声、それ以外の緊急性のない情報は女性の声で放送しています。



聞き取れなかった場合は、放送後一時間以内にテレホンサービス（☎87514000）か、五分以内に湘南ビーチFM（78・9MHz）でご確認をお願いいたします。



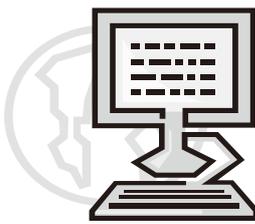
より正確な情報をお届けることができるよう、年内に防災行政無線の改修工事が始まります。工事中はご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願いいたします。

改修工事にご協力ください。

@hayama_townをフォロー。

拡散しよう、ツイッター。

町の防災・防犯に関する情報を、葉山町公式ツイッターから見るができます。町ホームページトップ右上に表示されるほか、パソコン・スマートフォン・携帯電話から<http://twitter.com>にアクセスし、登録することでいつでも町の防災情報を知ることができます。通費は利用者負担。



ツイッターは、東日本大震災で電話やメールが不通となった時も利用できたことから、いろいろな自治体での活用が増えています。家族や友人との連絡に加え、町の情報を多くの人に知らせましょう！
※詳しくは、町ホームページトップ右上の「ツイッターをはじめました」をご覧ください。

どこでも確認ができる、防災情報メール。



Disaster prevention information mail is receivable in English.

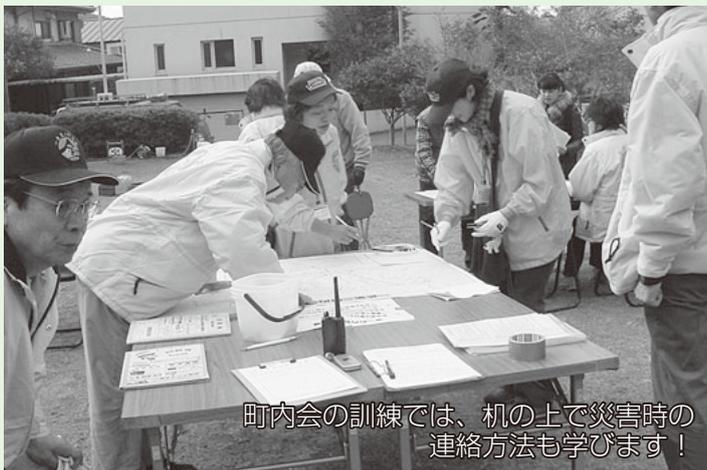
事前登録をすると、防災行政無線の放送内容をメールでお知らせします。登録するアドレスはパソコンでも携帯電話でも可能。深夜にもメールが配信されることなどの利用規約に同意した上、登録をお願いします。

※英語表記もあります

下のアドレスに、パソコンや携帯電話から空メール（件名・本文に何も書かない状態）を送ってください。その後、確認メールが配信されたら、登録完了となります。それ以降は、防災行政無線の放送後、その内容が自動的にメールで届きます。

※通信費は登録者負担ですので、ご了承ください。

bousai-hayama-t@ktaiwork.jp



町内会の訓練では、机の上で災害時の連絡方法も学びます！

共助の心で、 もっと守る！

地域住民による任意の防災組織のことを、「自主防災組織」と言います。各町内会も毎年一度「防災訓練」を実施しています。何度も参加することで、防災の知識が身につく、本当の災害時に慌てずすみずみ。訓練を通して近隣の人の顔を知り、絆を深めるためにも参加してみませんか？



女性防火防災クラブでは、目ごろから色々な訓練をしています！

最近、近所付き合いが希薄になっているとか言われますけど、訓練の最後に非常食の試食会があり、それを食べながら地域のひとと会話する。そんなことから日ごろのあいさつや良い関係づくりにつながっていくものです。「向こう三軒両隣」の心で、共助を考えたいですね。

※それぞれの町内会の防災訓練については、回覧板等をご覧ください。

＼もしもの時に助け合う！



町内会連合会
会長 福本 嘉津巳さん

「地震と津波」や「火災」など災害別のものができたらなと思います。

「頼まれて仕方なく……」と加入し、二年間の任期を終えると「もっと学びたい！」と話してくれる人も多くいますよ。

いざという時に自分、家族、さらには近所の人とも助け合える。もっと防災意識を持った女性が増えると嬉しいですね。

※興味のある人は、総務課防災係へご連絡ください！

＼すぐに使える防災知識を！



女性防火防災クラブ
会長 安達 和子さん

女性防火防災クラブでは、初期消火や消防ポンプの操作、防災資機材の点検、炊出しなど色々な訓練をしています。人気があるのは、人工呼吸やAEDでの救命訓練。実際に家の前の畑で倒れた人を見かけ、心肺蘇生をしたことで命を救ったクラブ員もいるんです！

火災出勤など危険な活動があるのではないかと、思っている人がいますが、それは全くありません。初めは「頼まれて仕方なく……」と加入し、二年間の任期を終えると「もっと学びたい！」と話してくれる人も多くいますよ。

現在、町の防災について総合的な情報を掲載する、「葉山町防災対策ガイドブック」を作成しています。4月1日に配布する予定です。

防災対策ガイドブック発行



問合せ 葉山警察署
☎87610110

は中止) 是非お越しく下さい。(荒天の場合

たとの想定に基づいたものです。搬送や救出救助、救護所、情報受伝達の訓練です。観覧は自由ですので、

3月11日は防災訓練



今月より、津波警報の発表基準・表現などが変わります。下の表を参考にしてください。

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値(発表基準)	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m			
	5m			
津波警報	3m	高い		標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m	(標記無)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで、海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、養殖いかだが流失し、小型船舶が転覆します。

津波警報が変わります



問合せ 横浜地方気象台 ☎045-621-1563

取材を終えて

東日本大震災以降、広報はやまでも何度か「防災の大切さ」について記事を掲載してきました。今回はそれらの総集編。

まずは自分や家族を守る「自助」、周りの人と助け合う「共助」、行政からのサポートである「公助」、三つの「助」がバランスよく機能するよう、皆さんも常に防災意識を持ってください。

今回は県内、そして東京都内にある「防災体験施設」をご紹介します。もうすぐ春休み、家族や友人と楽しみながら学んでみましょう！ いずれも入館無料です。(広報担当 高野)



神奈川県防災総合センター
(厚木市下津古久280)
問合せ ☎046-227-0001
(要申込み☎046-227-1700)
※18歳以下は成人の同伴。詳しくは県ホームページ。

体感するならココ！

震度7までの揺れが体感できる地震体験、激しい雨と風の風水害体験、煙避難体験、消火体験、通報体験など多くの防災に関する体験ができる県の施設です。

他にも防災Q & Aや神奈川県内で起きた災害の展示など、覚えておきたいことがたくさん！



東京臨海広域防災公園
(江東区有明3-8-35)
問合せ ☎03-3529-2180
(事前申込みは不要)
※団体などでは、申込みが必要な場合があります。

生き残るために！

組織的な救助活動が行われるのは、地震発生のおよそ72時間後。その72時間をどうすれば、生き残ることができるのか。

首都直下地震の発生から避難まで、ニンテンドーDS®を使って、クイズに答えながら体験できるツアーがあります！